

事業名	令和5年度 ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発
予算区分	農林水産研究推進事業委託プロジェクト「脱炭素・環境対応プロジェクト」
事業実施期間	令和2～6年度
担当者	(海洋生産技術担当)小倉季人・石川貴志
共同研究機関等	水産研究・教育機構 水産技術研究所, 同水産資源研究所, 同水産大学校 生物生産学科, 東京大学 大気海洋研究所, 広島大学 大学院先進理工系科学研究科, 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所, 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所, 鹿児島県水産技術開発センター, 山川町漁業協同組合, 徳島県農林水産総合技術支援センター水産研究課, 新潟県水産海洋研究所, 千葉県水研センター東京湾漁業研究所, 岩手医科大学 教養教育センター

地球規模で問題となっている温室効果ガスの削減に向けて、海藻・藻場のCO₂吸収機能に着目し、その評価手法を開発する。また、CO₂吸収源を増大させるための技術開発を検討し、脱炭素に向けた取組を推進こととし、徳島県海域に適した藻場形成技術の現場実装に向けた試験を実施している。令和5年度は、藻場形成・拡大技術として、サガラメ世代更新（老齢個体伐採・新規入植）の促進技術の現地試験を行った。

詳細については、「農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究 脱炭素・環境対応プロジェクト ブルーカーボンの評価手法および効率的藻場形成・拡大技術の開発 令和5年度実績報告書」で報告した。